建築床特殊性能研究会

最近の活動 2023年

1. 会員概要 (2023年6月現在)

法人会員：20社

個人会員：14名

名誉会員：5名

2. 2023年度役員

- ・ 会長 横山 裕 東京工業大学
- ・ 副会長 三上 貴正 元東京工業大学
- ・ 幹事 高橋 宏樹 (例会進行、議事録補、HP) ものづくり大学
佐藤 弘和 (会計、議事録、連絡) 田島ルーフィング(株)
藤井 祐太郎 (移動荷重WG、セミナー) 東京工業大学
- ・ 監事 添田 智美 (株)フジタ
福田 眞太郎 東京工業大学

3. 活動内容

・ 移動荷重が床に与える負荷の検討

2011年セミナーのテーマから、新たに検討を開始した。最初の取り組みとして医療施設に使用される電動ベッドのキャスターによる塩ビ床材の剥がれ、ふくれを取り上げ、2013~2016年に東工大より研究成果を建築学会に報告した。^{※1、※2}

次の取り組みとして、工場等で発生する1tを超える移動荷重に対する耐久性試験機を作成し、現在塗床、張り床を対象とした検討を進めている。^{※3}

※1:横山裕他、電動ベッドによる引きずり荷重に対する張り床の耐動荷重性の評価方法 その1 試験装置の設計、試作及び妥当性の検討、日本建築学会構造系論文集 第80巻 第709号 pp.369-377、2015/3

※2:横山裕他、コンクリート床下地の水分量が引きずり荷重による張り床のふくれに及ぼす影響、日本建築学会構造系論文集 第81巻 第724号 pp.926-935、2016/6

※3:藤井祐太郎他、塗り床の耐動荷重性とコンクリート床下地の表層部品質の関係、本建築学会構造系論文集 第86巻 第781号 pp.361-370、2021/3

・ 例会に於ける情報交換

会員持ち回りでそれぞれの業界の話題を報告する。また、床の性能評価方法や施工に関する最新の研究動向を、随時報告する。